

RIKEN

Field Proving Grounds



主な試験内容

- ・ 防雪柵効果検証

- ・ 大気暴露試験

塩害 吹雪 着雪 紫外線 砂
低温 融雪材 臭気 等による影響
を検証し対策を行っています。

- ・ 視線誘導効果検証

- ・ 各検知システム検証

対候性検知システム
吹雪検知システム
監視カメラシステム



ワイヤーロープ視線誘導標発光試験



防雪効果による着雪・積雪の堆積検証



カラー鉄線暴露試験



ガードレール視線誘導標発光試験



塗装耐候性試験



忌避体暴露試験



屋外試験場試験機材

- 風向風速温度計: 27セット保有
 - 積雪深計: 13セット保有
- ※ 観測機器は気象庁認定品を使用



カメラ監視システム



風向風速計

視程計側器



積雪量計測器



現場ロイド
クラウドカメラ



温度・湿度計



側溝対策製品ビーチ試験

Weather Survey < 気象観測 >

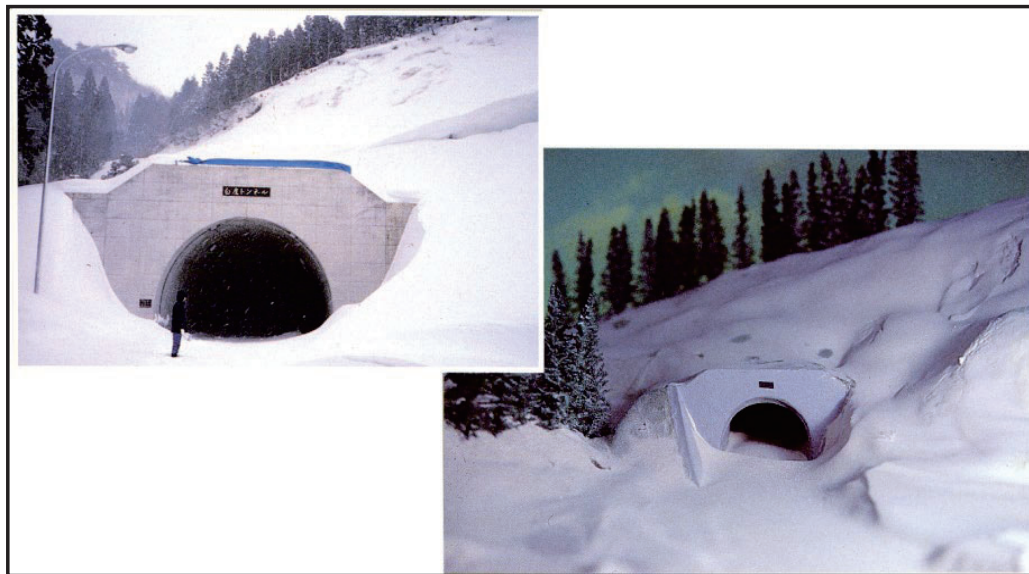
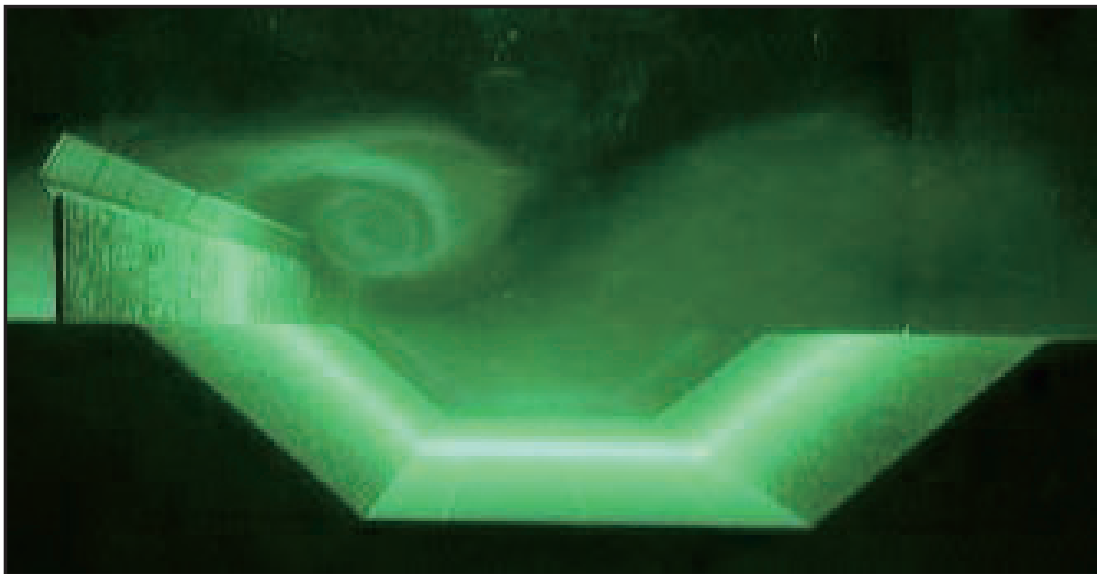


吹雪が発生している場所に最適な防雪柵を提案するためには、
現地の気象データを収集して分析する必要があります。

理研興業は多数の定点気象観測機器と、移動気象観測車を保有しています。



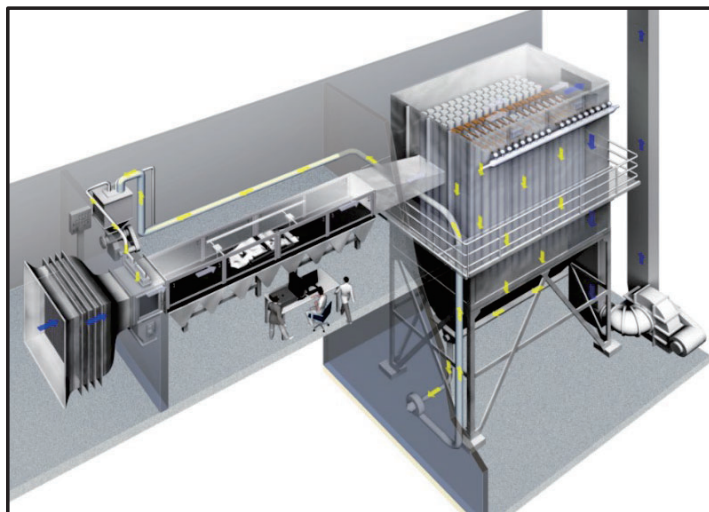
定点気象観測の
ページへ
リンクします。



Wind Tunnel < 風洞実験設備 >

理研興業の風洞実験設備は、風洞内に模型雪を飛散させることにより吹雪を再現することができます。

防雪柵や現地地形の縮尺模型を作成して、視程障害・吹き溜まり・吹雪状況を再現して、最も有効な防雪対策を提案します。



風洞実験の
ページへ
リンクします。



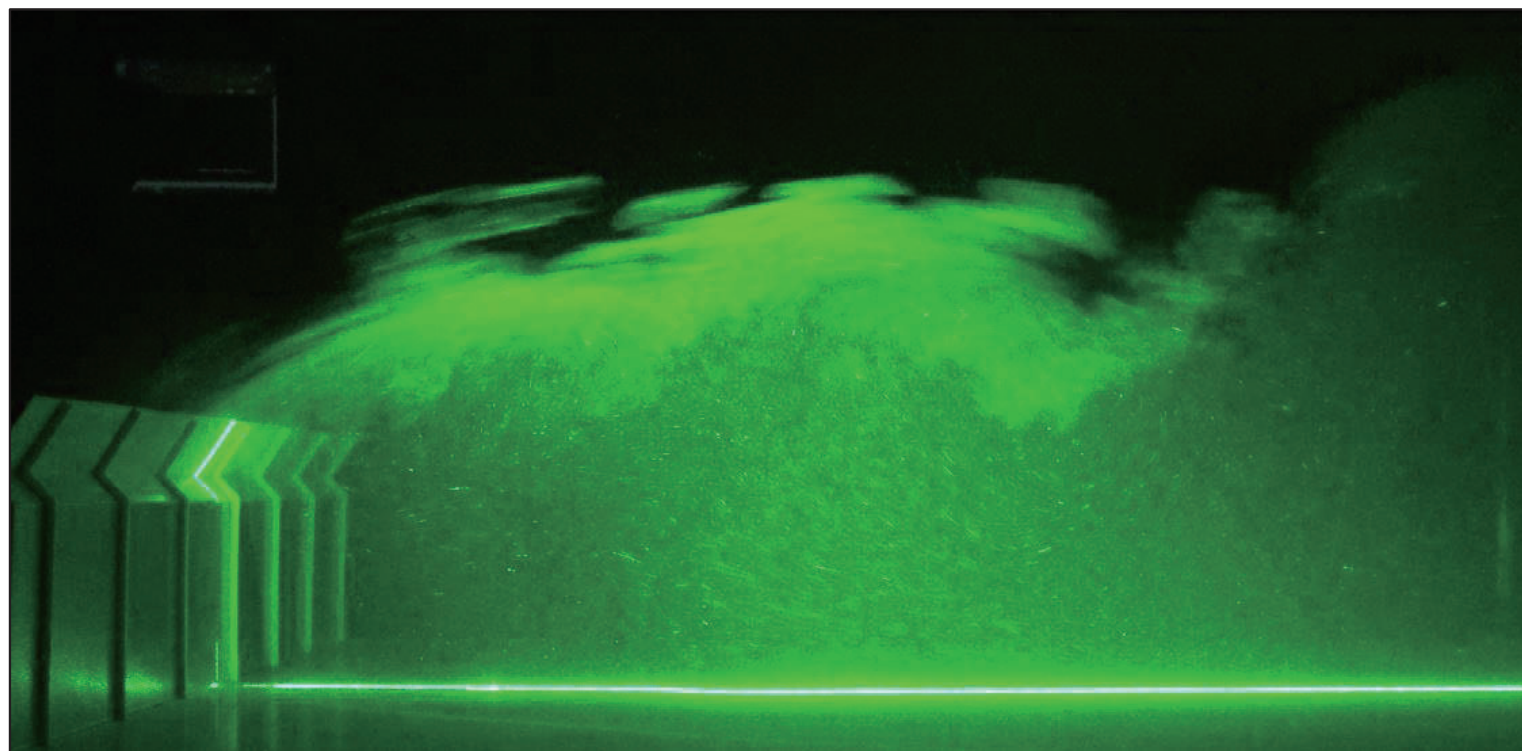
PIV解析

PIV（粒子画像流速測定法 Particle Image Velocimetry）とは、流れ場における多点の瞬時速度を非接触で得ることができる、光学の流体計測法のことです。ハイスピードカメラで高速現象をスローモーションで撮影し、コンピューターにて数値化することにより、防雪柵まわりの風雪の流れを短時間で精密に解析します。

弊社の風洞実験設備にPIVを導入し、より高性能な防雪柵の実現をめざして日々研究開発を行っています。



縮尺模型を設置した風洞内に模型雪を飛散させて吹雪を再現し、レーザー光を照射してハイスピードカメラで撮影



撮影した動画をコンピューターで解析

